

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



春の光がまぶしい今日この頃ですが、皆さん如何お過ごしでしょうか？

待ち焦がれた桜も、各地で美しく咲き誇り、私達の目を楽しま

せてくれています。日本に生まれて幸せ！

何となく心が弾みますが、4月は期待と不安が入り混じる始まりの季節でもありますね。



素敵な出会いが沢山ありますようにと願っています。

新しい環境で生活をスタートさせる方は、特に体調管理に気をつけて、楽しい春を謳歌してくださいね。

ゴールデン・ウィークも間近ですが、ご予約は決まりましたで



しょうか？

お元気で、充実した時間をお過ごしください！

快適に生活をするために！（４）

住宅は他の商品と異なり、住まい方、手入れの仕方で寿命が長くも短くもなるものです。

いつまでも快適に暮らすための参考となるポイントについてお伝えしていきます。

【雨樋（あまどい）】

雨樋は、落ち葉などのゴミが詰まると、排水不良を起こし、重みで落下したりしますので、取り除くようにしましょう。

最近では、プラスチック製のものが多くなってきたので「サビ」や「腐れ」の心配はありませんが、日光・積雪などで劣化し、ちょっとした衝撃でも破損しやすいので点検するようにしてください。

また、樋（とい）の繋ぎ目部分がはずれていないか？も点検してください。

【雨漏り】

雨漏りを発見したら、すぐに専門の業者にご連絡ください。雨漏りは、壁や天井部分に水滴として見えるものと、ポタポタと音だけして目には見えないものがあります。

また、現在は断熱材の使用が一般化され、断熱材に雨水が吸い込まれ、少々の雨漏りだと判りにくいことがあります。長年の雨漏りに気が付かないうちに、土台や柱の部分が腐っていたなどということを防ぐため、大雨や台風などの後には、シミの有無などを点検しましょう。

【物干し場】

屋根に物干し場などを設けた場合は、屋根上の支柱部分に落ち葉などがたまりやすく、屋根葺き材の腐食の原因にもなりますので、時々掃除をしてください。

また、建築後、屋根に物干し場や太陽光発電装置などを設ける場合は、構造体に大きな影響を与えますので、専門の業者に必ず相談してください。



次回に続く

「四つ葉のクローバー」

春の草花での遊びといえば、シロツメクサ（クローバー）を摘んで花冠や首飾りを作ったり、四つ葉を探したりと、白い小さな花が一面に咲く野原で夢中になった思い出があるかもしれません。

昔から、「四つ葉のクローバーは幸せを運ぶ」と言われているのですが、それは何故でしょうか？



これには様々な説がありますが、

例えばヨーロッパでは、父なる神・キリスト・聖霊・十字架を表し、幸運をもたらすとされています。

アメリカでは、名声・富・満ち足りた愛、更に素晴らしい健康が加わり真実の愛を表すとされています。

そして日本では、希望・信仰・愛情・幸福を示すとされています。

このように、それぞれの国で、「四つ葉には幸せになれる強い力がある」と信じられてきました。ですから今でも四つ葉のクローバーを見つけると嬉しくなるのですね。



母さんのお弁当



4月から学校が始まり、給食の代わりに各自お弁当を持って、通学する子供たちも多くいることでしょう。

給食とお弁当、どちらが良いのかは、意見が分かれるところですが、皆さんはどちら派ですか？

今回は、お弁当にまつわるチョッピリほろ苦いお話をお届けしますね。

ある男子学生の思い出です。

自分も人並みに中学 1 年生ぐらいの時、反抗期があり、少しツッパッたりしていた。

そんな頃、

「親の作った弁当なんてダサくて食えるか、金よこせよ、コンビニで買うから！」みたいなことを、母さんに言ったことがあってさ。

それからお金ももらって、昼休みに学校を抜け出して近所の店で買い食いするようになったんだ。

大人になってから親父に聞いたのだけど、母さんは、その時、やっぱり自分にはわからないように親父に愚痴ったらしい。

しかも、泣きながらね。

親父はブチギレて、俺をぶっ飛ばそうと思ったらしい。だけど母さんは、

「あの子だって年頃だし、かっこつけたいんだからしょうがないの！」と、逆に俺をかばったらしい。

で、俺は毎日小遣いとは別に、昼食代として千円もらって通学していた。

数年後、大学生になってオタク化して、バイト代を全て趣味につぎ込むようになった俺は、慢性的金欠病。

でも、親父からは、

「バイトをしているんだから、小遣いは一切やらない！」って言われて。

どうしよう・・・。

当時は、とにかくお金がなくてお金がなくて、激安の学食ですら飯が食えない。

そこで仕方なく、恐る恐る母さんに頼んだんだ。

「母さん、弁当作ってくれないか」って。

反抗期時代、自分が母さんに向かって言ったひどいことなんてコロッと忘れて・・・。

そしたら、母さんが泣きながら言ったんだ。



「もう、そんな弁当はダサくて食えないなんて、二度と言わないなら作ってあげるわよ、いくらでも・・・」

俺は、自分が昔、言ったことを思い出して愕然とした。

あんなひどいこと言っちゃって本当にごめん。



親の愛情がたっぷり詰まったお弁当はうまい。 やっぱり最高！！

皆さんにも何か思い出がありますか？

甘かったりしょっぱかったり・・・いろいろな思いと一緒に詰まっているお弁当は特別ですね。

「編集後記」

今の時期は、通勤途中に、ピカピカのランドセルを背負う新小学 1 年生や、まだ身体に馴染んでいない新しいスーツに身を包んだ新社会人の姿を多く見かけますが、どちらも少し緊張した面持ちで歩いています。

新しい門出に不安や戸惑いがあるのでしょうかね。

でも大丈夫！素晴らしい人達との出会いや、楽しいこと、嬉しいこともきっとたくさんあるはず。

もしも辛いことや悲しいことがあった時は、見守ってしてくれる人が周囲にいっぱいいることをどうぞ忘れないでください。

1 日も早く新しい環境に慣れて、それぞれの場で輝くことを願っています。 頑張ってください！！

今月号もお読みいただき有難うございました。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報くださいね。

編集責任者

渡辺 田鶴子

